

実際に活用できるアクティブ・ラーニング  
 手法紹介セミナーシリーズ(第4回)

# ループリック

## 評価の基礎

— 実例から読み解く作成法 —

【概要】

アクティブ・ラーニングで問題となることのひとつに、「どのように評価するか」という課題があります。その解決方法の一つとして「ループリック」が注目されており、学会・大学主催のFDセミナー・ワークショップなどにおいてループリック活用法が紹介されています。本セミナーでは、ループリック評価の基本として、さまざまな目的に応じて作成され、実際に使われたループリックの例を紹介し、参加者のニーズに応じたカスタマイズ方法や作成方法を考えていきます。セミナーでは、具体例を基に、ループリックの限界(何ができて、何ができないのか)を踏まえて、ループリック作りのチェックポイントを整理していきます。既にループリックを使っている方も、これから使おうとされている方も、ご自身にとって役に立つループリックとはどのようなものであるかについて一緒に考えてみましょう！

日時	2018年1月23日(火) 13:30~15:00
場所	首都大学東京 南大沢キャンパス 6号館402教室
講師	大学教育センター 松田 岳士 教授

【講師経歴】

九州大学を卒業し、日米の放送局に勤務。その後大学院(青山学院大学 国際政治経済学研究科 国際コミュニケーション専攻)へ。慶応義塾大学、青山学院大学、山形大学、島根大学を経て、2015年4月より現職。博士(国際コミュニケーション)。専門は教育工学、IR(Institutional Research)。システムを用いた自己調整学修の支援、多様な教学データの活用を研究テーマとしている。

問合せ・  
 参加申込み

- ◆ 参加対象者: 首都大学東京の教員(非常勤講師も可)
- ◆ 参加費: 無料
- ◆ 申込方法: 下記の担当宛に「第4回ALセミナー申込み」と明記し、1月19日(金)までにメールでお申込みください。
- ◆ 申込先: 首都大学東京管理部 教務課 教務企画係 担当: 宮本
- ◆ MAIL: kyomu-kikaku@jnj.tmu.ac.jp
- ◆ 電話: 042-677-2937(直通)
- ◆ 内線: 1035(南大沢)